

22 医療社会福祉部



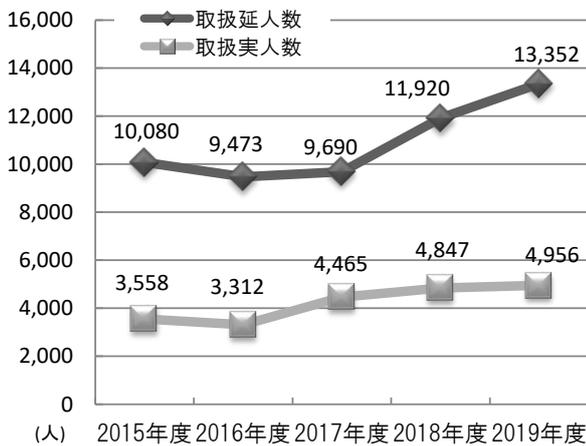
医療社会福祉部には、社会福祉士と精神保健福祉士の資格をもつソーシャルワーカー10名が在籍し、患者さんと家族が抱える療養中の様々な課題への相談援助を行なっている。また、がん相談支援センターや認知症疾患医療センターにソーシャルワーカーを各1名配置し、専門相談業務に従事している。

取扱実人数に大きな増減は見られないにも関わらず、取扱延人数が2018年度よりかなり増加しており、患者さん1人あたりの援助回数が増加していることがわかる(22-1)。これは、継続的な支援を要する退院支援や受診・受療援助が増加していることに加え、社会情勢の変化に伴って増加している児童虐待ケース、身寄りのない高齢者、経済的困窮者などの社会的支援を要するケースが増加していることによる。とくに退院支援は、対応延件数が2017年度は5,174件、2018年度は6,406件、2019年度は7,878件と大幅に増加しており、退院支援スクリーニングの導入や病棟を担当制にするなど入退院支援加算算定のための体制が強化されたことが影響している。

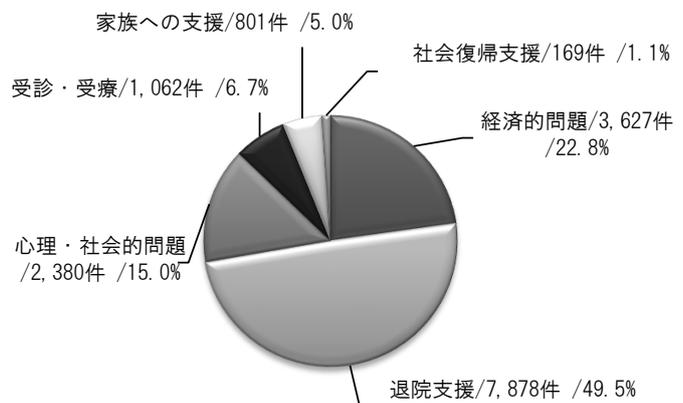
援助内容は、転院や在宅サービス調整の退院支援、訪問診療や緩和ケア病院等への受診・受療援助のほか、経済的問題、家族の介護や家族関係等に関わる支援、就学や就労等の社会復帰支援など、多岐にわたる(22-2)。

今後もソーシャルワーカーの支援の質を高め、他職種・他機関と協働しながら、さらに相談支援体制、退院支援体制を強化することで、患者さんとその家族が安心して医療を受けられるように努めていきたい。

22-1 取扱人数の年度別推移



22-2 2019年度援助内容の構成比率(合計15,917件)



22-3 2019年度診療科別依頼延件数

区分	件数	構成比率 (%)	区分	件数	構成比率 (%)
循環器内科	621	4.7	乳腺・内分泌外科	173	1.3
血液内科	1,038	7.8	心臓血管外科	276	2.1
アレルギー・リウマチ内科	149	1.1	呼吸器外科	214	1.6
糖尿病・内分泌・代謝内科	21	0.2	整形外科	92	0.7
肝・胆・膵内科	218	1.6	形成外科	11	0.1
消化管内科	329	2.5	脳神経外科	3,283	24.6
炎症性腸疾患内科	187	1.4	皮膚科	29	0.2
呼吸器内科	509	3.8	泌尿器科	431	3.2
脳神経内科	316	2.4	産科婦人科	510	3.8
腎・透析内科	126	0.9	眼科	78	0.6
小児科 / NICU	1,060	7.9	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	290	2.2
肝・胆・膵外科	15	0.1	放射線科	16	0.1
小児外科	15	0.1	歯科口腔外科	86	0.6
上部消化管外科	9	0.1	救命救急センター	2,190	16.4
下部消化管外科	644	4.8	精神科神経科	99	0.7
炎症性腸疾患外科	219	1.6	その他	98	0.7
			合計	13,352	100.0